

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール熊本		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 10日		～ 令和6年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 10日		～ 令和6年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アットホームな雰囲気大切に子どもたちの居場所作り</li> <li>・事業所内での出来事を題材としたSSTの実施と、振り返りの時間の提供</li> <li>・ご家族にも寄り沿った支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの話しを傾聴すること</li> <li>・子どもの主体性を大切にすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長に伴ったよりいっそうの情報提供</li> <li>・家庭や学校ではなかなか学べないことを学び、本人が過ごす場所での汎化につなげていく</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域を意識した療育プログラム(活動)の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳と運動して活動写真(アルバム)を送ることでより詳しく事業所での活動を知ってもらう</li> <li>・2か月に1回の頻度で発行している会報(AS新聞)でも活動の中身について周知している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて個別にSSTに取り組みを発信している。また利用児童本人から活動や事業所での様子を保護者に伝えてもらい、家族の話題作りにもしてもらう</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での療育支援、活動に注力しており地域連携へ取り組みが比較的遅れていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携に関する情報収集</li> <li>・地域で開催される行事への参加等</li> <li>・法人内の他事業所と情報交換し、方法を検討する</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所との連携(相談員さんを巻き込んだ活動の実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や必要に応じた情報共有以外の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な連携を行うため、日頃からコミュニケーションを図り、顔が見える関係性作りをする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス事業所との横のつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校送迎時等に情報の交換や共有を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の併用事業所との連携から始めていき、幅を広げていく。事業所同士の行事、イベントも計画し、つながりを強化していく。</li> </ul>